

がんばれ子育て

病児（病後児）保育事業の新規利用申請と更新手続きについて

病児（病後児）保育は、お子さんが病気になった際、保護者が仕事などの理由により育児ができないときに一時的にお預かりする事業です。

県内各所にある病児（病後児）保育施設は、どこでも自由に利用できます。

利用するためには、中央市と利用施設への事前登録が必要になります。また、中央市への登録の有効期限は8月31日までとなっており、引き続き利用するためには更新の手続きが必要です。

登録や更新を希望する人は、子育て支援課で手続きをしてください。

※登録申請は「やまなしぐらしねっこ」からでも行うことができます。詳細はお問い合わせください。

↓問合せ 子育て支援課
☎274-8557

パパママ学級・育児学級

※広報折込の「保健事業のお知らせ」もあわせてご確認ください。

▼マタニティーヨーガと母乳教室（パパママ学級）

日時 8月2日（月）午後1時15分～受付午後1時30分～3時30分

内容 助産師によるマタニティーヨーガ、母乳の話など

▼ウエルカムベビー②（パパママ学級）

日時 9月5日（日）午前9時45分～受付午前10時～正午

内容 沐浴・スキンケアについて、妊婦疑似体験、パパママ交流

▼離乳食教室（育児学級）

日時 8月31日（火）

①午前9時30分～10時15分
②午前10時30分～11時15分

内容 離乳食開始の時期や1回量、硬さなど基本の「き」の部分学びます。

※予約制、少人数、短時間での教室となります。また、託児は行いません。

↓申込み・問合せ 健康増進課
☎274-8542

健康ライフ

がん検診クーポン券をお持ちの人へ

4月下旬に子宮頸がん、乳がん検診無料クーポン券を対象者に郵送しました。

新成人を迎えられた人へ

成人のお祝いとして「ピロリ菌抗体検査無料クーポン券」を郵送しました。

胃がんの約8割はピロリ菌が関係しているといわれており、ピロリ菌感染の有無を早期に発見し、除菌することで将来胃がんになる確率が低下します。

今回は血液による抗体検査を助成しますので、将来への保険として、ぜひご利用ください。

①指定医療機関で検査する場合

指定医療機関に予約のうえ、クーポン券と保険証など本人確認できるものを持参して受検してください。指定医療機関はクーポン券裏面をご覧ください。

②指定医療機関以外で検査する場合

医療機関でピロリ菌抗体検査を受検したあと、令和4年3月31日までに健康増進課に償還払いを申請してください。後日、指定口座に助成金（上限2,000円）を振り込みます。

↓問合せ 健康増進課
☎274-8542

献血にご協力ください

8月3日（火）

午前10時～11時30分
午後0時45分～3時30分

場所 市役所本館
対象 16歳～69歳
※400mL献血にご協力をお願いします。
※65歳以上の人の献血については、献血される人の健康を考え、60歳から64歳の間に献血経験がある人に限ります。
※新型コロナウイルスワクチンを接種したあと、48時間経過していない人は献血をすることができません。詳細はお問い合わせください。

↓問合せ 健康増進課
☎274-8542

高次脳機能障害者支援センター 圏域サテライト相談（予約制）

山梨県高次脳機能障害者支援センターでは、「高次脳機能障害（脳卒中や交通事故などの影響により現れる記憶低下や集中困難など）後天的な認知面の障がい」のある人やその家族の相談に応じ、地域で安心して暮らせるよう支援するために、サテライト相談窓口を開設します。

日時 8月18日（水）午後1時45分～4時

場所 北巨摩合同庁舎
（韮崎市本町四丁目2-4）

内容 相談会、ミニ講座

※サテライト相談窓口は北巨摩合同庁舎を含め、県内4か所で開設します。開設日時や場所などの詳細はお問い合わせください。

↓申込み・問合せ 山梨県高次脳機能障害者支援センター
☎262-31121

充実ふくし

在宅心身障害者等介護人手当の申請について

在宅重度心身障がい者などの日常生活の世話をする介護人の肉体的および精神的な負担をねぎらうために手当が支給されます。

対象 基準日(4月1日)において、基準

日前6か月間中央市に住所を有し、かつ、基準日前6か月間介護保険サービスおよび障害福祉サービスを受けたかった在宅重度心身障がい者などを現に介護している人

申請方法 申請書に日常生活状況などを記入し、民生委員の意見を添えて福祉課に提出

手当額 年額3万円
(年1回9月末に支給)

申込期限 9月1日(水)まで
※詳細はお問い合わせください。

↓問合せ 福祉課 ☎274-8544

敬老祝金を支給します

敬老祝金の支給対象者には、通知を郵送します。

日程 9月中旬

対象 88歳の市民(基準日9月15日)

↓問合せ 地域包括支援センター

☎274-8558

国民年金保険料の納付は口座振替が便利です

口座振替を利用すると、納期ごとにコンビニや金融機関などの窓口まで納付に行く手間が省けるほか、前納による割引制度もあります。口座振替による前納は、現金納付による前納よりも割引額が大きくなります。

申請場所 保険課・玉穂・豊富支所、竜王年金事務所または口座振替する口座のある金融機関

※日本年金機構ホームページから「口座振替納付申出書」を取得して、郵送することでも申請できます。

持ち物 金融機関届出印、口座番号がわかるもの、年金手帳または納付書

申請期限 10月分からの半年前納 8月末まで
令和4年4月分からの半年、1年、2年前納 令和4年2月末まで

※口座振替を停止するときは、「口座振替辞退申出書」を提出してください。

※手続きには1か月から2か月かかります。詳細はお問い合わせください。

↓問合せ 保険課 ☎274-8545
竜王年金事務所 ☎278-1104

障がいのある人同士の交流の場「れんげ会」を開催します

「れんげ会」は障がいのある人たちが、軽スポーツをしたり、茶話会を通して不安や疑問を相談したり、楽しみながら交

流を深める会です。お気軽にご参加ください。

日時 8月15日(日) 午後1時30分～

場所 昭和町中央公民館
(昭和町押越532)

対象・定員 市内または昭和町在住の障がいにかか

る手帳や診断のある人、難病認定されている人 10人(先着)

↓申込み・問合せ 障がい者相談支援センター「穂のか」
☎274-11100
FAX 274-11103

いきいき倶楽部

まごころ学園「講演会」

日時 8月17日(火)
午後1時30分～3時

場所 豊富中央公民館

内容 「豊かな人生を過ごすための健康生きがいづくり」

講師 沢登京子氏(山梨県健康づくりアドバイザー協議会)

対象・定員 まごころ学園生徒 25人(先着)

申込期限 8月13日(金)まで
※参加者は当日マスクを持参して着用してください。また、風邪の症状があるなど体調の悪い人は参加をご遠慮

ください。
※会場までの移動は、送迎バスを運行し

ます。利用を希望する場合は、申し込み時にお伝えください。また、停車場と停車時間はお問い合わせください。

※まごころ学園は65歳以上の市民であれば、ごなたでも入会できます。入会の申し込みは、随時受け付けています。詳細はお問い合わせください。

↓申込み・問合せ 生涯教育課 ☎274-8522

からだ測定会・出張就労相談会・シニア世代就労セミナー(予約制)

日時・場所

8月25日(水) 午後1時～5時
桃源文化会館

(南アルプス市飯野2971)

8月30日(月) 午後1時～5時
ぴゅあ総合

(甲府市朝気二丁目2-2)

9月2日(木) 午後1時～5時
笛吹市スコレーセンター

(笛吹市石和町広瀬626-1)

対象 55歳以上の人
※予約は、やまなしシニア世代就労推進協議会で受け付けています。なお、月・水・金曜日は就労相談直通電話番号でも予約できます。

就労相談直通電話番号 ☎800-5961-8977

※詳細はお問い合わせください。

↓申込み・問合せ やまなしシニア世代就労推進協議会 ☎223-1777

お知らせ

相談

募集

イベント・教室

がんばれ子育て

健康ライフ

充実ふくし

いきいき倶楽部

手とて

「つながるひろがる支援の「輪」」



ひきこもりで悩んだら…

ひきこもりとは、さまざまな理由で学校や職場など、家庭外の交流の場から遠ざかっている状態が6か月以上続いていることをいいます。

ひきこもりの要因は、本人の甘えや怠けによるものでも、家族の育て方の問題でもありません。ストレスから身を守る一つの方法であったり、何かしらの疾患が関係している場合もあります。

一人で悩んでいたりと、家庭内だけで何とかしようとしてもうまくいかないときは、思い切って相談してみませんか。

↓相談・問合せ 福祉課

☎274-8544

山梨県ひきこもり地域支援センター

☎254-7231



「AYA」世代のがんと妊孕性

山梨大学医学部附属病院 産婦人科 助教 小川達之

「AYA」は「Adolescent and young adult」の略で、思春期から若年成人にあたる15歳から39歳の年代を指します。がんとはあまり縁のない年齢に思えるかもしれませんが、山梨県内でも毎年約100人のAYA世代の人ががんを発症しています。およそ3分の2が女性で、その半分は乳がんと子宮がんです。「まだ若いから」とか「コロナ禍だから」といって避けずに、ぜひ乳がん検診や子宮がん検診を積極的に受けるようにしてください。

ところで、このAYA世代でがんを発症すると問題になるのが、妊孕する能力「妊孕性」への影響です。抗がん剤をはじめとした治療は、卵巣や精巣へ取り返しのつかないダメージを与えることがあり、そのまま治療後に閉経してしまう可能性もあります。そのた

め、苦しい治療を乗り越えてがんを治しても、その後の人生が思い描いていたものとは違う人生になってしまいかもかもしれません。私たちの施設では、がん治療の前に配偶子（精子や卵子）を凍結保存して、治療後に妊娠できる可能性を残しておく「妊孕性温存療法」を行っています。液体窒素の中には半永久的に保存し、使用するときには不妊治療（体外受精）の技術を応用して妊娠にチャレンジすることができ

ます。若くしてがんを発症してしまい、気持ち落ち込む中、治療後の人生に向けて前向きにがん治療を受けることにつながります。

山梨大学医学部附属病院では、これまでに60人以上の男性および10人以上の女性が妊孕性温存療法を実施しました。配偶子の保存に成功したみな

さんは安心した表情で、がん治療に出発されていきます。その後は1年ごとに様子を聞かせてもらっています。実際に凍結しておいた配偶子を使って、がん治療後に子どもを授かった人も少しずつ増えています。どこの病院でがん治療をしても連携して妊孕性温存療法による対応ができますので、早めに主治医に相談してみてください。

もしみなさんの近くに若くしてがんを発症してしまった人がいたら、「妊孕性温存療法」のことを教えてあげてください。男性でも女性でも対応可能ですので、山梨県内にある医療資源を有効に活用して、がんに負けずに素敵な人生設計をしましょう。

山梨大学医学部附属病院では、これまでに60人以上の男性および10人以上の女性が妊孕性温存療法を実施しました。配偶子の保存に成功したみな

企画 一般財団法人 里仁会